



節分

🔪 トロミ剤の使い方、食事介助の工夫 🔪

私たちは普段食事介護に携わる機会が多く、嚥下状態の悪い患者様や自ら食事摂取できない患者様などを対象に食事介護させてもらっています。

当院では患者様一人一人に合わせた食事が提供されており、患者様の中には食事介助をするにあたって誤嚥予防のため食事にとろみ剤を必要とするがおられます。

とろみの使用は食べ物をまとめやすくし簡単に呑み込めるようにする、喉へゆっくりと送る、といった利点がありますが、反面とろみの濃度が強すぎると窒息の危険性もあるため患者様の状態に合わせて濃度を考えることが大切です。

今後もとろみを適切に使用し、患者様にとって楽しみでもある食事の時間をより安全に介助していきたいと思えます。



看護師 佐々木 梓

⚠️ インフルエンザ警戒中 ⚠️

今年の冬は例年に比べ、インフルエンザ発生数はあまり多く報告されていませんでしたが、年が明け低温傾向が強くなるに従い発生報告も例年同様、徐々に増加してきています。

急な発熱や悪寒など、インフルエンザが疑われる時は重症化を避けるため速やかに医療機関を受診してください。

また、高い発熱などがある場合は水分をしっかり摂取し、十分に休養・栄養をとることが必要です。高熱や脱水症状で意識がもうろうとなり、ふらついたり倒れ込んだりして怪我をすることがあるので極力外出を控えて自宅で休養をとり安静を心がける様にしましょう。

現在当院では感染予防の観点から不要不急の面会のご遠慮いただいております。

面会が必要な場合は、インフルエンザ症状が無くてもマスクを着用し(受付事務所で販売しています)、当院玄関に設置してある消毒液で手指を消毒するようにしてください。

また中学生以下のお子様は病棟にお入りになりませんようお願い申し上げます。



もう義理チョコは止めてみては？
 バレンタインデーは2月14日に祝われ、世界各地でカップルの愛の誓いの日とされています。
 バレンタインデーの起源は、一説によると269年(3世紀)ローマ帝国皇帝・クラウディウス2世は、士気が下がるといふ理由で、兵士たちの婚姻を禁止しました。
 キリスト教の司祭だったウァレンティヌスは、婚姻を禁止されて嘆き悲しむ兵士たちを憐れみ、内緒で結婚式を行っていましたが、それが皇帝の耳に入り、怒った皇帝は彼を処刑してしまいました。
 この殉教の日が2月14日で、初めのころは聖バレンタイン司祭の死を悼む行事でしたが、14世紀頃から若い人たちが愛の告白をしたり、プロポーズの贈り物をする日になったと言われています。
 日本では2006年のアンケートで70%の女性が義理チョコの習慣はなくなればよいと回答し、日本経済新聞に『日本は義理チョコをやめよう』と全面広告が掲載されました。
 義理チョコは、日頃の感謝の気持ちを表す機会やコミュニケーションの円滑化、楽しい年中行事とポジティブな意見もありますが、お返しを何にしたら良いか考えるのが大変、金銭的に負担がかかる甘いものが苦手、というネガティブな意見もあり、最近では、義理チョコを渡すより自分のご褒美に高級なチョコを買うという方が多くなっています。
 自由に恋愛や結婚ができる現代に感謝し、聖バレンタインを悼んでチョコを食べると違った味が楽しめるかもしれませんね。
 某看護師

某看護師

診療案内 (※3月から医師の担当曜日が変わる予定です。詳しくは受付までお問い合わせください。)

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
 土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
 休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医 (月曜日午後及び土曜日午前中は担当医師が週により変更となります)

月曜日	午前：青山	午後：内科(交代制)	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：大村	午後：宮加谷	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：宮加谷	午後：腎臓内科		午後：神経内科(六車)	
		(進藤・門野)	土曜日	午前：内科(交代制)	

📷 季節の風景



🌸 梅が咲き始めました